

<みどりーむまつり 消防署見学と救急救命講座 3月10日 AM>

1. 参加者：18家族52人（大人21人 子ども31人）
→申し込み多数（78組）に付き、抽選を実施した。
子どもの内訳：未就学児15人、小学校（1～3年生13人、4～6年生3人）
*参加者を2グループに分け、車両見学と救命講習を30分ずつ交代で実施。
*グループ分けは、あいうえお順。各家族に番号を振って管理（1家族は同一番号）。
1～12 & 13～18（欠席No：1、9、10、16）
*缶バッチに番号札を貼り付け（服に直接貼るとはがれ易いため）、グループごとに青色と黄色で区別した、

2. 受付

- *自転車置き場のフェンス脇にテントを張り、長テーブル2台を用意して行った。
→テントは、消防署用の駐車スペースの邪魔にならない場所を協議し設置。テントが飛ばないようにフェンスに縛り付けた。



*受付は5人で実施。参加者に缶バッチに貼り付けた番号札と、「みどりーむまつりプログラム及びパネルアンケート&クイズ」が入ったクリアファイルを渡し、消防署体験後みどりーむに誘導できるようにした。

→多くの方が終了後「みどりーむ」に寄り、景品を持って帰った（33人が、アンケートで消防署体験を選択）。



消防署員の概要説明。これから消防署へ！

3. 消防車両見学

- *消防車：水タンク付き車両・消防指揮車・ハシゴ車・消防指揮車・小型車両、救急車、バイクもある。救急車の出動があった。
- *消防署員の丁寧な説明にみんな興味津々。「水はどこから持ってくるの?」「ホースは何本くらい積んでいるの?」など子供たちからも次々に質問が寄せられた。





- *救急車を呼ぶ時は119に掛けること。緑消防署に電話しない様に！との確認・説明があった（状況の確認に時間が掛かるので、必要な対応が遅れるから）。
- #7119（24時間受付可）も有効。
- 救命講習でも繰り返し、この件は注意されていた、

4. 救急・救命講習

- *倒れている人（声掛けをしても反応なし、呼吸もしていない）を見つけたら・・・
周りの人に大声で知らせる → 119番に通話 & AEDの段取り
→ 胸骨圧迫の開始（これが大事）
- *AEDが到着したらパッドを装着して、通電が必要かどうかを機械（AED）が判断・音声で指示される。
- *消防隊員による説明（声掛けの仕方、AEDの使い方と注意事項）の後、3班に分かれて（人形が3体）一連の操作を体験してもらった。子供たちも一生懸命取り組んでいた。体へのパッドの貼り方、電源の入れ方もほぼ指示通りに出来た。AED使用中に体に触れると危ない（感電する）ので注意。



真剣にやっています！

- *参加者全員がガチャを回して景品（缶バッチなど）をゲット。



- #### 5. 終了後（イベント参加者の番号札回収→みどり一むへの誘導）
- 番号札の回収場所：

青色グループ（腕用ポンプが展示してある出入口）

黄色グループ（テント前）

→多くの方が、そのまま帰らずに、みどり一むに寄ってくれた。

6. 振り返り

*事前の準備がよく、スムーズな運営ができた。特に、参加家族を番号で管理したのは正解だった。

*ぐずついた子はいたが、途中で騒ぎ出す様なハプニングは起こらず、ほっとしている。

*消防署員の対応（子供向け）が丁寧で、飽きることなく皆 集中して受講できたと思う。

*イベントは 11 時 30 分には終了し、みどり一む内の見学・アンケート記入に間に合った。

*ガチャは好評だった。

*風が吹いてきたので、書類が飛ばないように重しを乗せた。

*早く来た（30 分前）家族は寒いので、みどり一むで待機してもらった。

消防署体験について書かれたアンケート内容

- 楽しかった。(9人)
- またやりたい。(2人)
- 勉強になった。
- 貴重な体験ができてよかった。
- いろいろ体験出来て楽しかった。
- 心臓マッサージが楽しかった。
- 面白かった。
- 子どもが喜んでいたので参加してよかった。
- 子どもたちが消防車が好きなので、良い体験となった。
- 救急車が出動するところが見られて嬉しかった。
- 車両を近くで見れてよかった。
- 消防士と直接話ができて楽しかった。
- 消防隊になりたい。
- 小さい子も参加できてよかった。

以上